



特集

議員の聞く×つなぐ

昨秋、23年ぶりに開催された子供議会。全9校の町立学校から18人の子供議員が選出されました。最初は緊張していた子供議員も、一般質問や未来宣言の決議に臨む中、堂々とした姿で町の施策等をただしていました。今回は特集として、大活躍だった子供議員の皆さんを取材しました。



平成28年10月18日 子供議会を終えて

子供議員18人全員が 次回開催を求める もっと子供たちの声に耳を傾けて!

2017.10.8.2

Q 議場に入った瞬間の気持ちを教えてください

- ・やばい…
- ・不安と緊張と、ワクワク感
- ・頑張るぞ。やってやるぜ
- ・緊張しそうで、あまり覚えていません
- ・思ったより議場が広かった

Q 一般質問に対する町の答弁に満足しましたか

- ・「できない・やっていない」という答えが多かった気がする
- ・丁寧に答えてもらったので満足
- ・実現できるか返事をしてほしかったものもあった
- ・もっと具体的に「ダメ」な理由を知りたかった。ダメなら他の案を教えてほしい
- ・町長が答えてくれたので嬉しかった



取材を終えて

編集委員の一言

- ・議会をもっと身近に。子供新聞のような、子供向けの「子供議会広報」を編集・発行してみたいと感じました。(笠原 武)
- ・ここで大切なのは、相手に考えてもらう、考えさせること。その機会をつくってゆくことです。(島崎隆夫)
- ・子供議員の男女比は半々。町議会もそうなればいいなあ。(田中照子)
- ・子供が理解・納得できる説明を心がけること。それは、全ての町民に対する優しさですね。(戸口 勝)
- ・子供議員さんたちには、前もって一度は本会議の質問場面を見せておきたかった。(笠原 武)
- ・ここで大切なのは、相手に考えてもらう、考えさせること。その機会をつくってゆくことです。(島崎隆夫)
- ・「私達は小川町の未来を受け継ぐ準備をします」の発言に、襟を正すべきは大人ではなくかろうか。(笠原規弘)

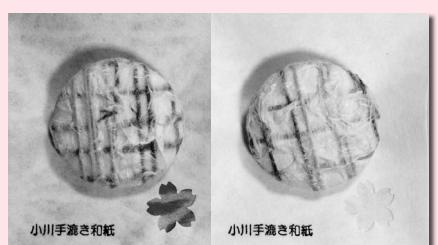
Q あなたにとっての「小川町」とは

- ・自然の豊かさが自慢
- ・とても大切な場所
- ・心落ち着く場所
- ・いつまでも私の家
- ・災害が少なくて住みよい
- ・みんなが仲良くて家族のような町



世界につだけの子供議員バッジ

子供議会当日、議会から子供議員に対して、記章（子供議員バッジ）を贈呈しました。この記章は、「小川和紙を愛する会」の皆さんによって制作したもので、カラーは赤・青・黄・緑・橙の全5色。独自の製法からなる色糸紙を使用しています。



今定例会では、平成28年度一般会計・各特別会計の補正予算や、教育委員会委員の任命など、案を審議。すべて原案のとおり議決しました。

一般質問は12人が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし政策提言を行ないました。

課設置条例の一 部改正

Main question Pick up

新設 防災地域支援課を

Q 本年度に機構改革を行なつたばかりであるが、なぜ、この時期に改正するのか。また、事務分掌の再編でどのようなことを担当していくのか。

A 昨今の異常気象などを踏まえ、住民の生命や財産等を守るために対策をしていかなければならぬと見えました。それと同時に、有事の際の体制強化と縮災の観点から地域の自主防災組織の育成と、共助社会を醸成していく必要性を総的に判断して変更しました。

Q 防災地域支援課の設置により、役場の体制と町民にどのような影響・変化があるのか。

A 発災時の迅速な対応と指揮系統の強化をすることにより、町民の安全・安心が図られると考えます。また、行政区のコミュニティ推進や、町民相談事業の充実を図っていきたいと考えます。

議会は議論の場 町民に資する議論は大歓迎 (町長の発言から)

課設置条例の一部を改正する条例制定の審議は、冒頭に「議案の範囲を超えた質疑内容」を理由に、執行側が答弁を留保。計4回で86分間にも及ぶ休憩を要しながら、採決に至りました。休憩中には緊急の議会運営委員会を開催。正副町長を参考人招致し、その姿勢をただしました。

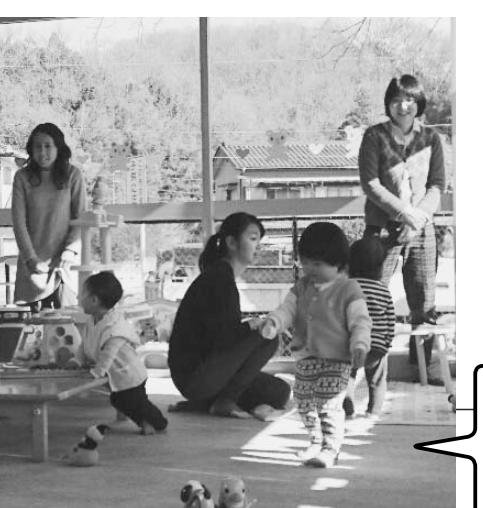
※紙面の都合上、やり取りの詳細は会議録で確認してください。(今定例会の会議録は2月末ごろから見られます)

※対策については、議会運営委員会で取り組んでいます。

平成28年度補正予算

子育て支援の充実へ

Q 子供子育て施設整備推進事業費として、873万8000円の設計委託料が示されたが、事業の詳細は。国の地方創生拠点整備交付金を活用し、地域における子育て支援の拠点施設として、子育て支援センターの整備を考えています。



A 全体の意思・方向性は、交付金の決定を見るまで申し上げづらいところです。交付金の決定がかなつた際には、厳しい財政状況ではあります。が、「選択と集中」の観点から政策判断・決定がされていくものと考えています。

※①総合窓口の設置（ワンストップ化）②飲食可能な子育てサロンの開設③検診・療育スペースの新設④多世代交流スペース設置に向けたエレベーター新設⑤空調設備・トイレ・授乳室の改修⑥離乳食提供可能な子供福祉避難所としての改修

議案名	議員名	審議結果	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	高瀬勉	山口勝士	高橋さゆり	松本修三	金子美登	松葉幸雄	大戸久一	島崎隆夫	柴崎勝	宮澤幹雄	戸口勝	根岸成美
課設置条例の一部を改正する条例制定 ※平成29年度に防災地域支援課を新設		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定 ※教育相談室等の指導員報酬を月額から日額に変更		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与に関する条例及び小川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定 ※給料を平均0.2%引き上げ。子育て世代の扶養手当が充実等		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例の一部を改正する条例制定 ※免税されている台湾の機関で得た利子・配当が課税の対象に在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例制定 ※支給制限施設に障害児入所施設等を追加		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第3号) ※予算に5365万5000円を追加。総額は90億9321万8000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) ※予算に1億1995万円を追加。総額は42億3203万8000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ※予算から116万円を減額。総額は3億4913万9000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) ※予算に3255万8000円を追加。総額は25億8664万円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) ※予算から1291万7000円を減額。総額は7億1596万6000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) ※職員給与費を増額		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度水道事業会計補正予算(第2号) ※職員給与費を増額		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命 ※吉田徳匡氏を任命	よしだのりまさ 吉田徳匡氏を任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
庁用自動車への追突事故の物件損害に関する和解 ※追突され全損した庁用自動車に対する物損の和解		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
小川中央陸橋耐震補強工事請負契約の締結 ※請負者 ヤマグチ工務店。代金 6129万円。工期 平成28年度末まで		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願審査結果 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書		不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	

※(○は賛成、×は反対、欠は欠席) 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

鳥獣被害の現状と防止対策は

柴崎 勝が問う
しばさき まさる

近隣町村と連携団つて、ジビエと獣友会の拠点づくりを。

山口勝士が問う
やまぐちかつし

「年数だけが過ぎていいく」町民の声があふれています。

町活性化に小川和紙の活用は

金子美登が問う
かなこ よしのり

楮と木綿の繊維で作られた布での洋服を夢見ています。

在来大豆と和綿でまちおこしを

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」



夜行性のイノシシが昼間にも出没するようになった。(市野川付近)



伝統工芸会館の来場者は、ユネスコ無形文化遺産登録後は増加しているが…。

・旧上野台中学校の活用は

A 環境農林課長 有害鳥獣の増加に伴い処分や有効利用は、これらの課題と認識しています。今後は小川獣友会の協力を得ながら、新たな技術や状況の確認を行なうとともに、近隣町村と連携等を図っていきたいです。

Q 狩猟者同士の情報交換・後継者育成をはじめ、ジビエまでの加工を考えた拠点づくりを。

A 環境農林課長 本年は全国的に熊の出没が相次いだ。当町でも被害者が出てたが、対策は。

A 環境農林課長 緊急性もあり、ラミネートプレート看板を設置しました。被害が甚大になる恐れがあるため、防災無線と防災メールを活用した早期の情報伝達と、ホームページや回覧等で、さらなる周知を図っています。

A 環境農林課長 平成26年度が64アールで171万1000円、27年度が

A 環境農林課長 本年は全国的に熊の出没が相次いだ。当町でも被害者が出てたが、対策は。

A 環境農林課長 緊急性もあり、ラミネートプレート看板を設置しました。

山口勝士が問う
やまぐちかつし

「年数だけが過ぎていいく」町民の声があふれています。

金子美登が問う
かなこ よしのり

楮と木綿の繊維で作られた布での洋服を夢見ています。



子供たちと栽培し収穫した茶綿を、綿縫機で綿毛と種に分ける作業の様子。

・旧上野台中学校の活用は

A 環境農林課長 今年度、予算化された新たな和紙製品・商品開発の進捗は。

A 環境農林課長 にぎわい創出課長 3紙（細川紙・石州半紙・本美濃紙）で取り組む「ユネスコ和紙ブランド推進連携事業」の一環で、販路拡大・開発事業として、新たな和紙製品の開発を検討しています。和紙を既存の紙製品にコーティングする手法や、特性を生かした立体的な折り紙など、研究中です。

A 環境農林課長 今年度、予算化された新たな和紙製品・商品開発の進捗は。

A 環境農林課長 にぎわい創出課長 3紙（細川紙・石州半紙・本美濃紙）で取り組む「ユネスコ和紙ブランド推進連携事業」の一環で、販路拡大・開発事業として、新たな和紙製品の開発を検討しています。和紙を既存の紙製品にコーティングする手法や、特性を生かした立体的な折り紙など、研究中です。

A 環境農林課長 今年度、予算化された新たな和紙製品・商品開発の進捗は。

10



バランスのよい年齢構成を望みます。

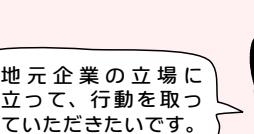
住民のために勉強していってください。



(K・Tさん・61歳)



(S・Cさん・43歳)



(M・Kさん・38歳)

私は、古寺で生まれ育ちました。山で木登りをしたり、川で小魚やカニを捕まえて遊びました。夏の夜は蛍が飛び交っていたことを覚えています。

今は、青上に主人と子供3人とで暮らしています。母親になり、改めて家族・友人はもちろんのこと、学校の先生や地域の皆さんに支えられながら生きていることを実感しています。

現在、我が子とよく足を運んだ児童館で働いています。来館する子供達との交流の場を豊かにしていきたいと考えています。

また、趣味のテニスでは、総合運動場で小学生と一緒に体を動かしています。さらに、公民館や西中学校で、「琴」の指導をする機会にも恵まれました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも「ありがとう」の力を信じ、大好きな小川町で多くの方と触れ合っていきたいです。



信じています。
「ありがとう」の力

中村美香さん(青上)
Mika Nakamura

傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴でき
ます(事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は
3月1日(水)～
開会は**10時**です



中
た
こ
ヒ
ト



些細な出来事
から感じたこと

峯岸守恵さん(下里三)
Morie Minegishi

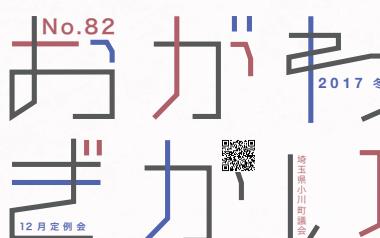
先日、夜遅く帰宅した息子が「お母さん、星がすごいよ。こんなに見える」と言いました。確かに自宅の庭から見上げると、満天の星が見えます。しばらく2人で夜空を見上げながら、改めて感動してしまいました。

我が家の近所には、初夏になると蛍がたくさん見られる場所があります。子供が小さいころには一緒に夕涼みの散歩に行き、蛍を見て帰ってきました。水がきれいだからこそ、蛍も生息できます。

春には槻川沿いの山道に、きれいなカタクリの花が咲きます。毎日眺めている仙元山も季節ごとに景色を変え、とてもきれいです。

こんなにすばらしい環境の中で暮らせていくことに、改めて感動しました。

これからもこのすばらしい環境を残していくよう、私も微力ながら努力していこうと思います。



No.82
小川町議会だより
平成28年12月定例会冬号
(平成29年2月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 根岸成美

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高瀬 勉 副委員長 田中照子
委員 戸口 勝・笠原 武・島崎隆夫・笠原規弘

編集後記

「ミスターウチムラ、あなたは審判員に好かれていると感じていますか」「ジャッジは神聖なもの、公平だと思う」。リオ五輪記者会見のワンシーン。歴史的死闘に水を差す愚かな質問と言われたが、事態は意外な展開へ。内村選手と敗れたオレグ選手との間に、互いをたたえ合う姿が映し出され、美談を生んだ。体操競技の本質を知る2人に、にわかスポーツ記者が入る余地はない。本質を追求すること。議会人として、心掛けたいものである。(笠原規弘)

